



一般社団法人長崎県情報産業協会
Nagasaki IT Solution Industry Association



株式会社 亀山電機
Kameyama Electric Co.,Ltd.

長崎工業会 令和3年度競争力強化支援事業
DXに繋がる中小企業のIT等
活用セミナー

事例紹介

一般社団法人 長崎県情報産業協会 副会長
株式会社 亀山電機 代表取締役会長
北口 功幸



本日のプログラム

- 自己紹介・会社紹介
- 2020年度版ものづくり白書の事例紹介
- サプライヤーとしての事例紹介
- 4月長崎工業会会員アンケート結果及び会員事業所の事例紹介
- 5月NISA会員アンケート結果・NISA紹介

自己紹介

剣道を習う
泣いてばかり
吃音
宿題をせずに授業中
立たされる(泣)



1965
長崎県大村
市松原生まれ

1976
大村市立郡
中学校入学

1981
佐世保高専機
械工学科入学

剣道・バレーボールで人生に自信？



多くの先輩との出
会い、修行の日々

1986朝日工業社入社

出会い
11月15日

多くの出会い、刺激、励まし、
遊び、読書無し



1996
亀山電機創業

2020
亀山社中
創業

1972名門！！長崎県大村市立松原小学校入学



会社紹介



OA IA WEB
保守
Maintenance
制御機械保守
ソフトウェア保守

OA
Office Automation
受託ソフトウェア開発
サーバー導入・構築
PC及び周辺機器販売

IA
Industrial Automation
プラント制御の設計と調整
一般機械制御の設計・製作・販売
海外製制御製品販売

WEB
Website Creation
ウェブサイト制作
ホスティング事業
マーケティング戦略立案

OA IA
派遣
Dispatch
技術者派遣
助勢作業

- 創 立 : 1996年10月7日
- 所在地 : 長崎市弁天町3番16号
佐世保事業所 / 大阪営業所
東京事務所 / 名古屋事務所
- 社員数 : 83名(うち外国人10名)
- 売 上 : 8億7800万円(2021年3月)

2021年版 ものづくり白書 総論、第1章 構成

- 新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大のみにとどまらず、近年、我が国製造業のサプライチェーンのリスクとなる「不確実性」は高まる一方。加えて、世界各国でカーボンニュートラルやデジタルトランスフォーメーション（DX）の取組が急速に進展。
- すなわち、「製造業のニューノーマル」は、レジリエンス・グリーン・デジタルを主軸に展開される。今回のものづくり白書では、これらの観点から我が国製造業の生き残り戦略に資する動向分析を行う。

総論 —製造業のニューノーマル／レジリエンス・グリーン・デジタル—

第1章 我が国ものづくり産業が直面する課題と展望

<第1節> 我が国製造業の足下の状況

1. 我が国製造業の業績動向
2. 我が国製造業の経営判断

<第2節> ニューノーマルでの生き残りに向けて

1. レジリエンス —サプライチェーンの強靱化—
2. グリーン —カーボンニュートラルへの対応—
3. デジタル —デジタルトランスフォーメーション（DX）の取組深化—

ものづくり白書より 株価の推移

第1節 我が国製造業の足下の状況

新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大は、2020年以降の我が国の経済に大きな影響を及ぼした。

日本企業に対する市場の評価を確認すると、2020年3月以降、日経平均株価の下げ幅は連日1,000円近くとなり、3月9日の週は週次ベースで3,318円70銭安を記録、18日の終値は3年4か月ぶりの低水準である16,000円台となった（図110-1）。一

方、3月16日に日本銀行が上場投資信託の購入枠倍増を決めたことにより、3月23日の週は週次ベースで2,836円60銭高を記録するなど、市場は記録的な乱高下を繰り返した。なお、その後は回復を遂げ、12月29日の終値で27,568円と30年ぶりの高値を付け、2021年2月には30年6か月ぶりとなる30,000円台を記録した。

図110-1 株価の推移（日次データ）



資料：(株)日本経済新聞社「日経平均株価」(2021年3月)

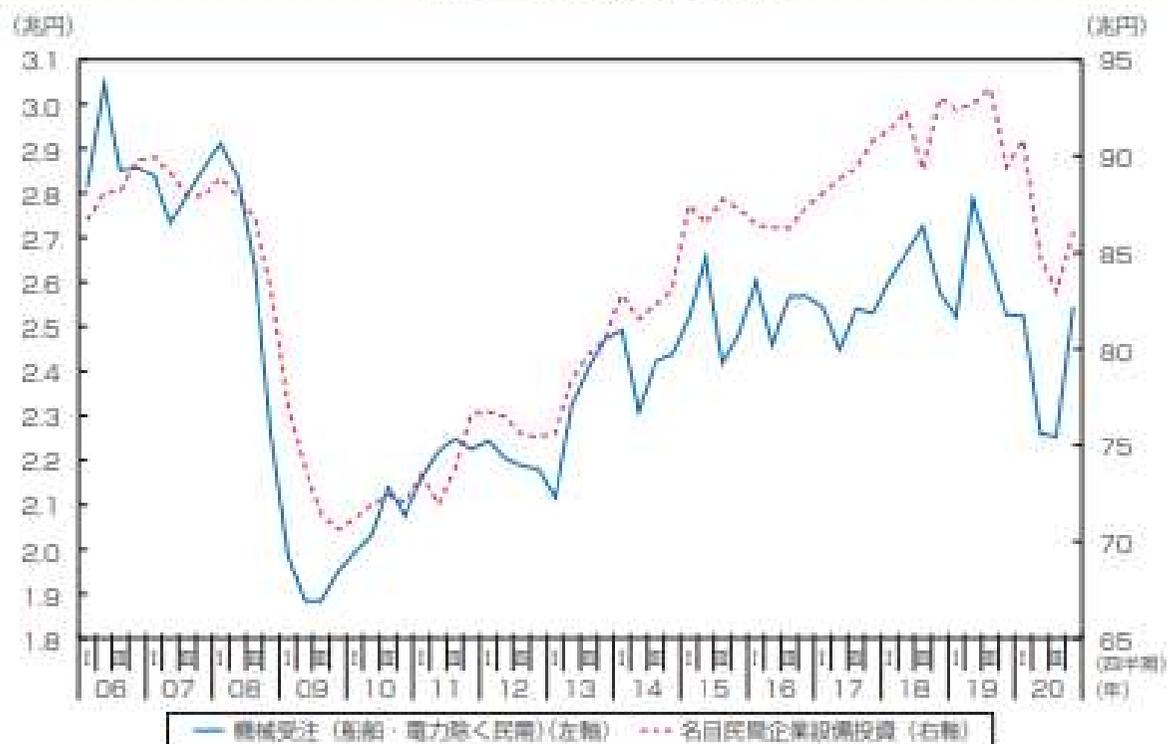
ものづくり白書より 設備投資額の推移

5 設備投資動向

我が国全体の設備投資額の推移をみると、2019

年後半に引き続き、2020年にも新型コロナウイルス感染症の感染拡大などの影響により減少となった（図115-1）。

図115-1 設備投資額の推移



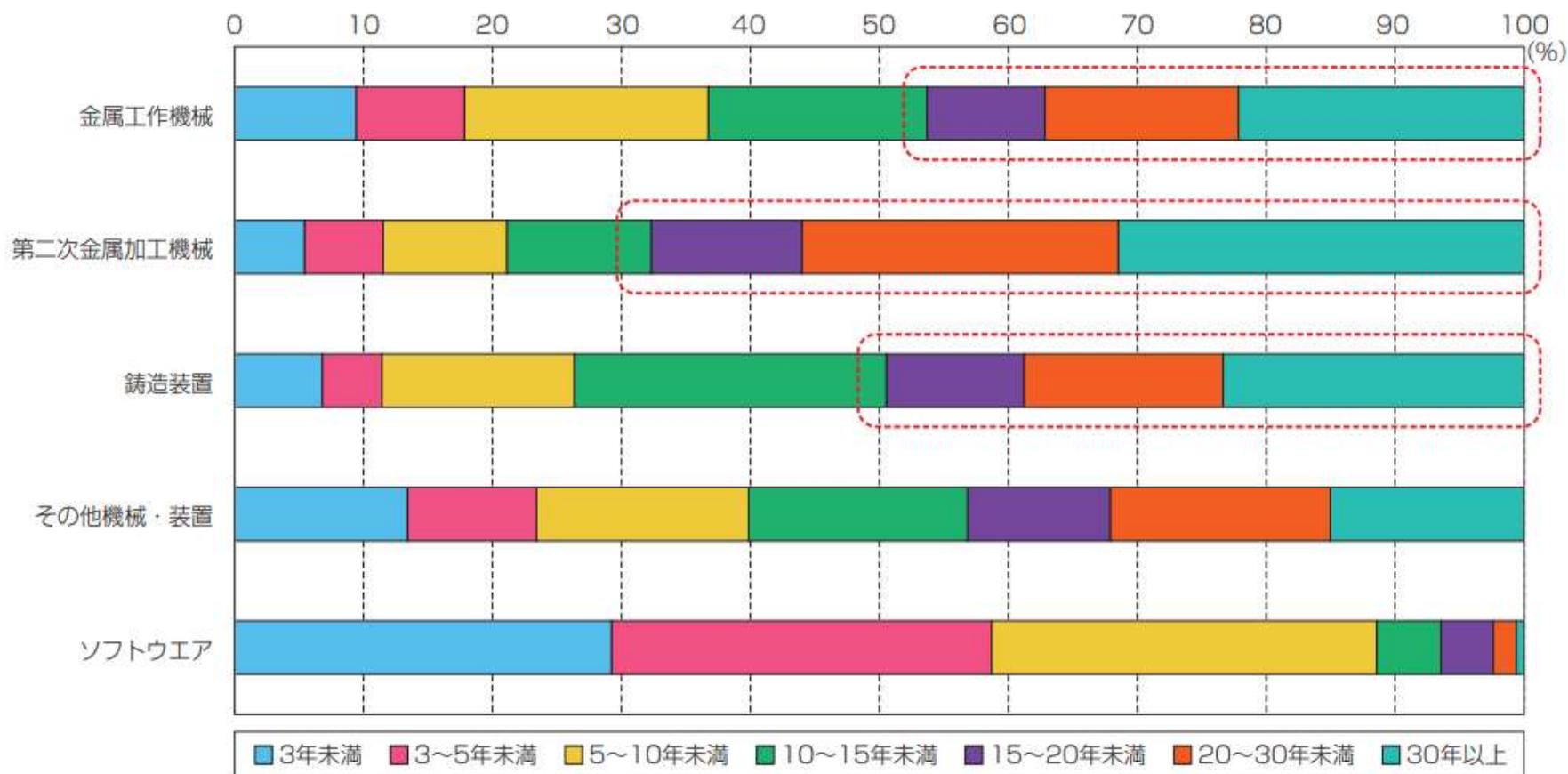
備考：季節調整値

資料：内閣府「2019年10～12月期四半期別GDP速報（2次速報値）」（2021年3月）、「機械受注統計調査」（2021年2月）

ものづくり白書より

生産設備導入からの経過年数比較

図 113-8 生産設備導入からの経過年数 (2018年調査)

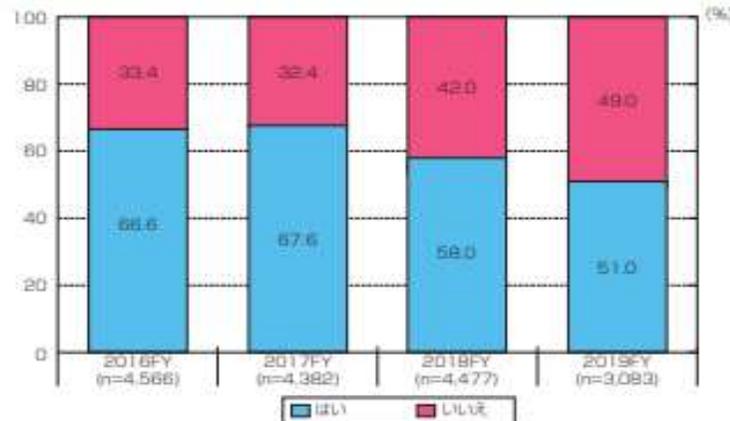


資料：日本機械工業連合会 2018年度生産設備保有期間実態調査（ビンテージ調査）

ものづくり白書より

生産設備の稼働データ収集他

図 131-2 生産プロセスに関する設備の稼働状況等のデータ収集を行っているか

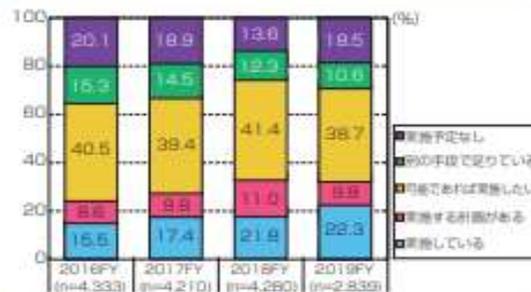


資料：三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)「我が国ものづくり産業の課題と対応の方向性に関する調査」(2019年12月)

さらに、センサーやITを活用して個別工程、製造工程全般、人員のそれぞれの稼働状況の「見える化」によるプロセス改善等に取り組んでいるか(図131-3・4・5・6)、海外工場において国内工場と同じ

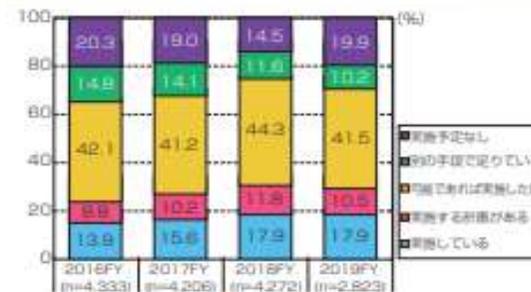
かそれ以上の生産プロセスにかかるデータ等の収集・活用を実施しているか(図131-7)について尋ねたところ、いずれについても、大きな進展は見られなかった。

図 131-3 個別工程の機械の稼働状態について「見える化」を行っているか



資料：三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)「我が国ものづくり産業の課題と対応の方向性に関する調査」(2019年12月)

図 131-4 ライン・製造工程全般の機械の稼働状態について「見える化」を行っているか



資料：三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)「我が国ものづくり産業の課題と対応の方向性に関する調査」(2019年12月)

ものづくり白書より DXの推進に向けて経営者 が実践すべき事柄

図 123-2 DXの推進に向けて経営者が実践すべき事柄（抜粋）

1. ビジョン・ビジネスモデル

デジタル技術による社会及び競争環境の変化の影響を踏まえた経営ビジョン及びビジネスモデルの方向性を公表していること。

2. 戦略

設計したビジネスモデルを実現するための方策として、デジタル技術を活用する戦略を公表していること。

2-1. 組織づくり・人材・企業文化に関する方策

特に、戦略の推進に必要な体制・組織に関する事項を示していること。

2-2. ITシステム・デジタル技術活用環境の整備に関する方策

特に、ITシステム・デジタル技術活用環境の整備に向けた方策を示していること。

3. 成果と重要な成果指標

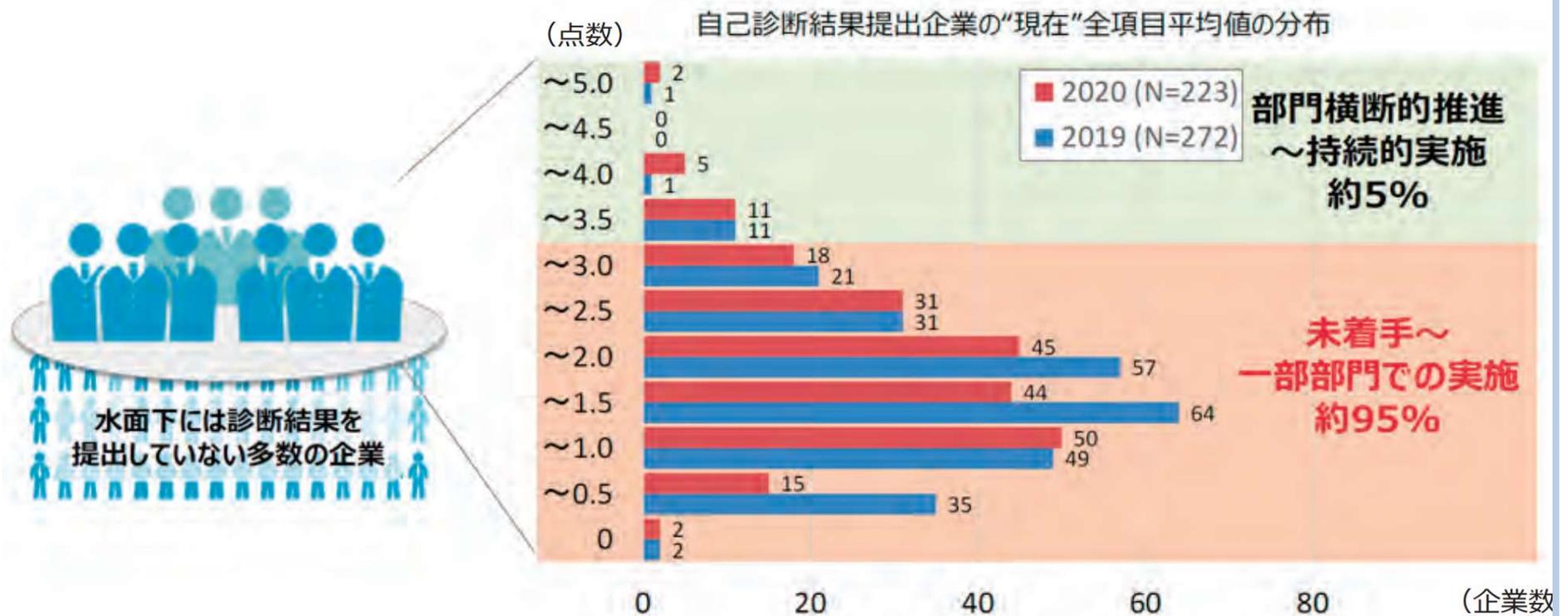
デジタル技術を活用する戦略の達成度を測る指標について公表していること。

4. ガバナンスシステム

経営ビジョンやデジタル技術を活用する戦略について、経営者が自ら対外的にメッセージの発信を行っていること。等

ものづくり白書より DXの推進指標自己診断結果

図 123-4 DX 推進指標自己診断結果



経済産業省「DXレポート2 (中間取りまとめ)」(2020年12月)

ものづくり白書より DXの活用(ソリューション例)

第3節 製造業の企業変革力を強化するデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進

1 日本の製造業のデジタルトランスフォーメーションにおける課題

(1) 製造業におけるデジタル技術のインパクト

ドイツの“インダストリー 4.0”、フランスの“未来の産業 (Industrie du Futur)”、中国の“中国製造 2025”など、世界の主要各国が、第四次産業革命への対応を進めている中、日本もまた、目指すべき社会の姿として“Society 5.0”を掲げ、さらに2017年3月、我が国の産業が目指すべき姿として“Connected Industries (コネクテッドインダストリーズ)”というコンセプトを提唱し、世界に向けて発信した。

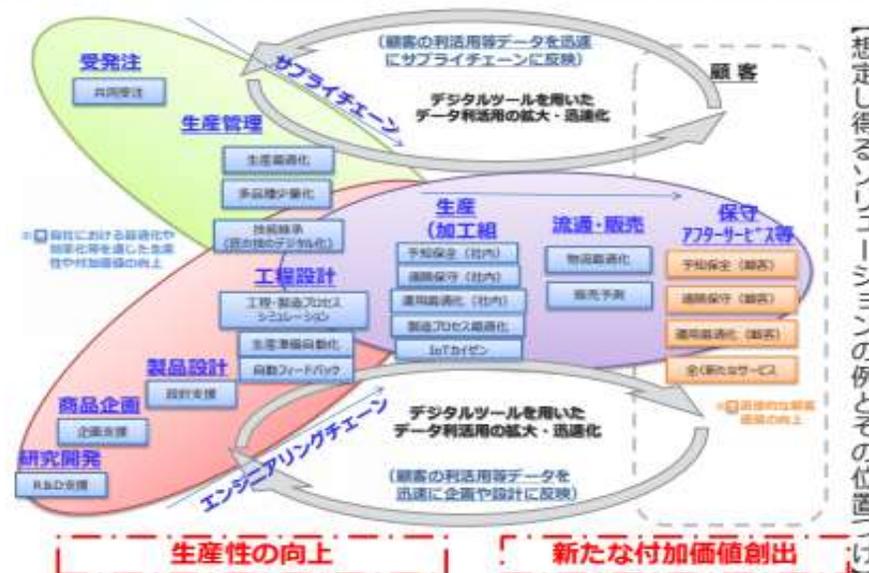
“Connected Industries”とは、データを介して、機械、技術、人など様々なものがつながることで、新

たな付価値創出と社会課題の解決を目指す産業の在り方である。このコンセプトを具体化する上でカギとなるのは、IoTやAIを始めとする最新のデジタル技術である。

このようなデジタル技術は、より具体的には、次のようにして製造業に大きな変革(デジタルトランスフォーメーション)をもたらす。

そもそも製造工程には、大まかに言って、研究開発—製品設計—工程設計—生産などの連鎖である「エンジニアリングチェーン」と、受発注—生産管理—生産—流通・販売—アフターサービスなどの連鎖である「サプライチェーン」がある。製品や生産技術に関するデータは、この2つのチェーンを巡って流れ、結びつき、そして付加価値を生み出す。

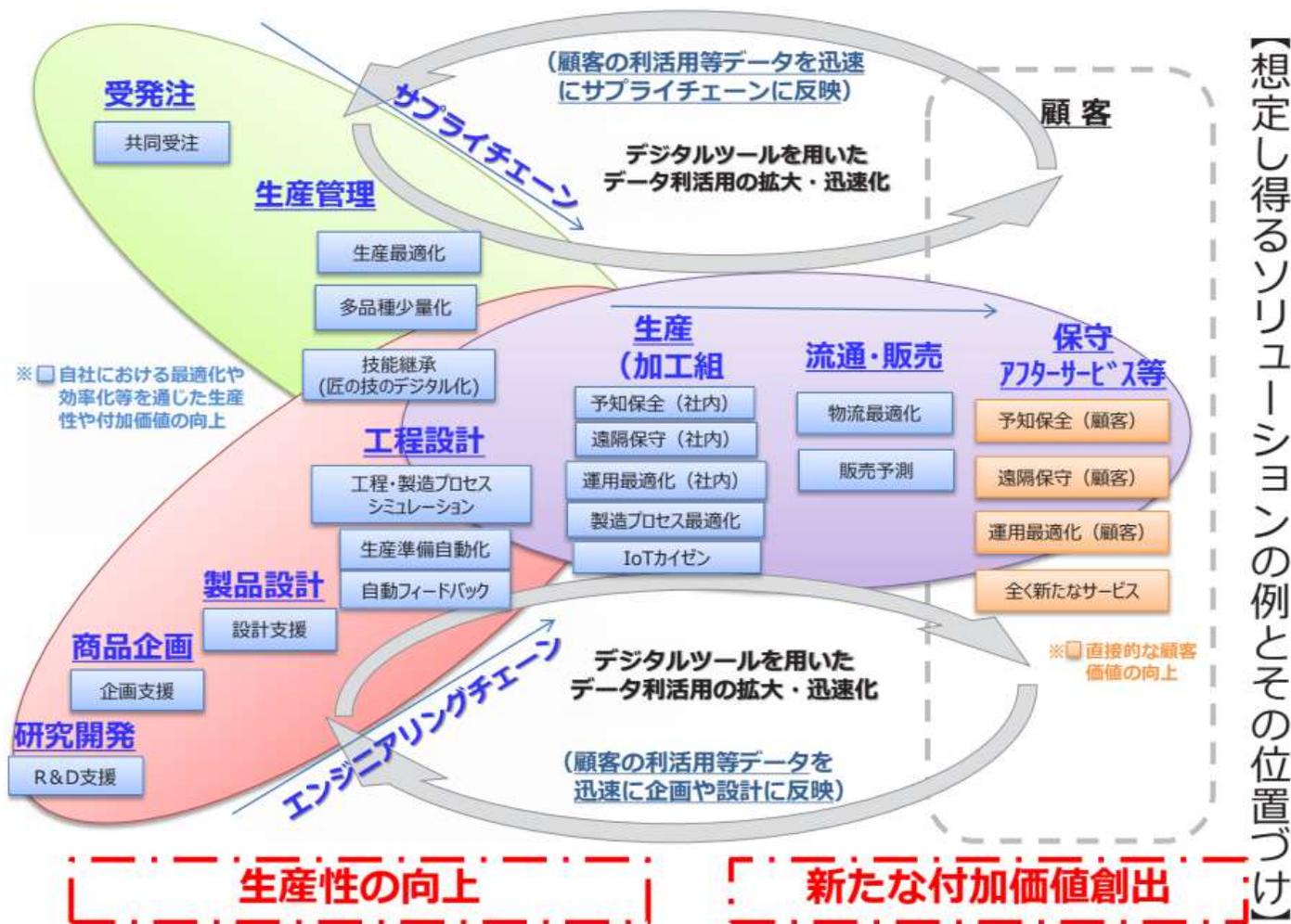
図 131-1 想定し得るソリューションの例とその位置づけ



第3節 製造業の企業変革力を強化するデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進

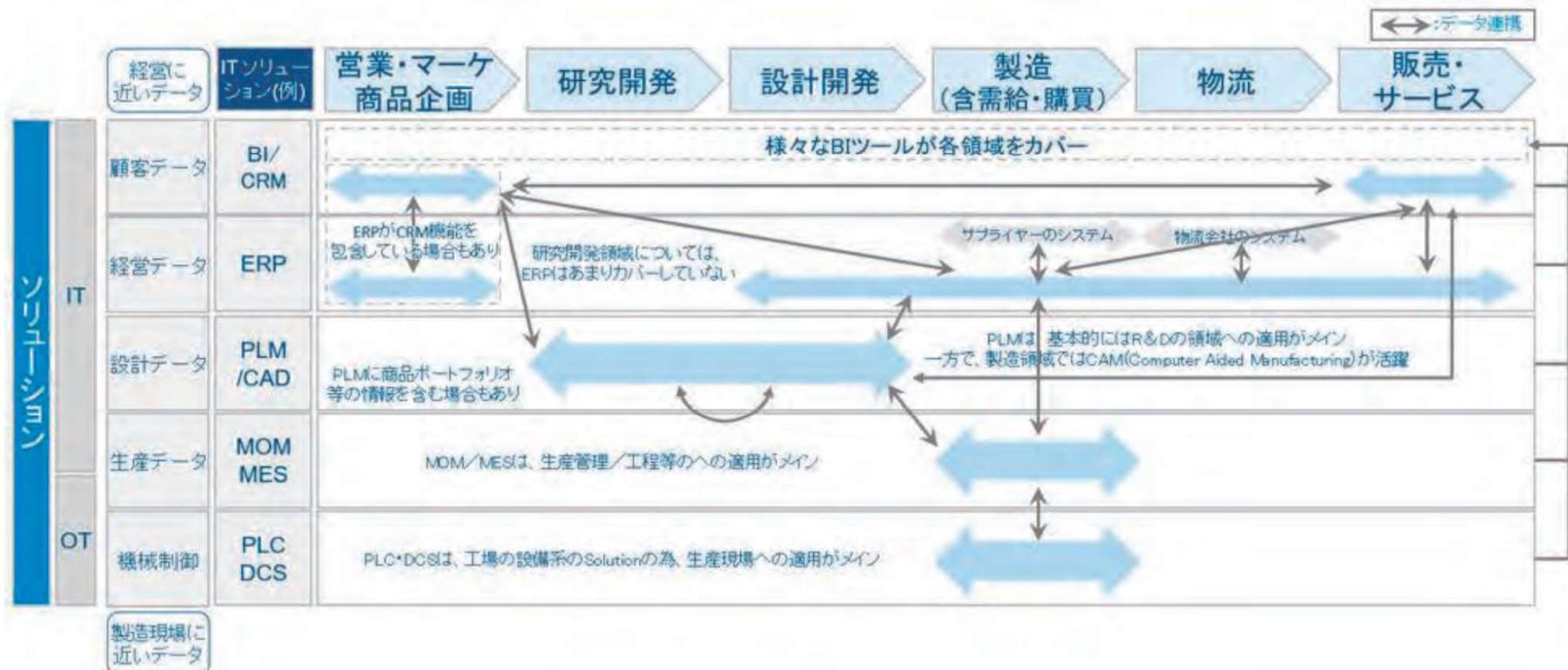
ものづくり白書より DXの活用(ソリューション例)

図 131-1 想定し得るソリューションの例とその位置づけ



ものづくり白書より 各業務領域における ITソリューションの俯瞰

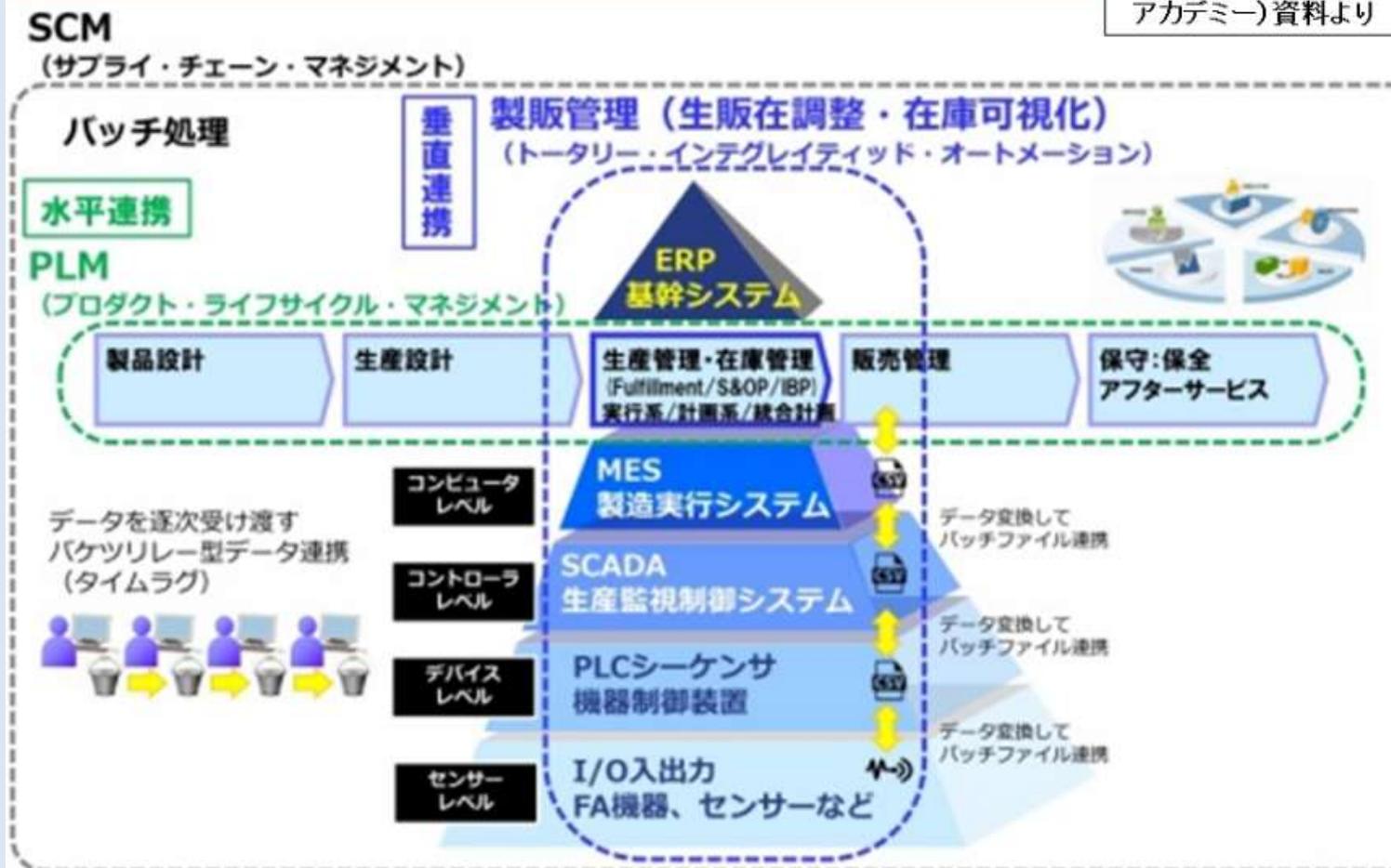
図 123-5 各業務領域における IT ソリューションの俯瞰



SCMにてDXを活用した 水平連携・垂直連携

製造業の抱える課題(ドイツの分析)

Acatech(ドイツ工学アカデミー)資料より



生産方式：日本（トヨタ生産方式）、アメリカ（リーン生産方式）
製造業の工程ごとに部分最適が進む、



ご存じとは思いますが参考 までに・・・IOTとIndustrial 4.0に関して

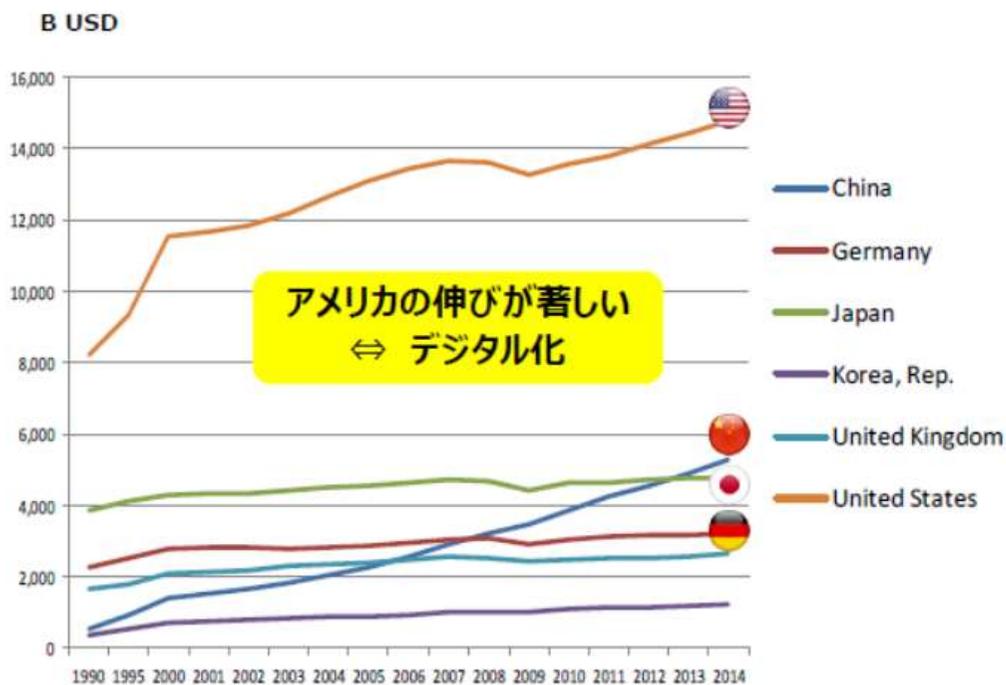
- 2010年代になって、米ゼネラル・エレクトリック (GE) など米国勢が中心の「インダストリアルインターネット」
- 2011年ドイツ政府による「インダストリー4.0」というデジタル化政策があり、ドイツのインダストリー4.0には医療機器大手シーメンスやソフトウェア大手SAPが中心になっている

日本やドイツの課題

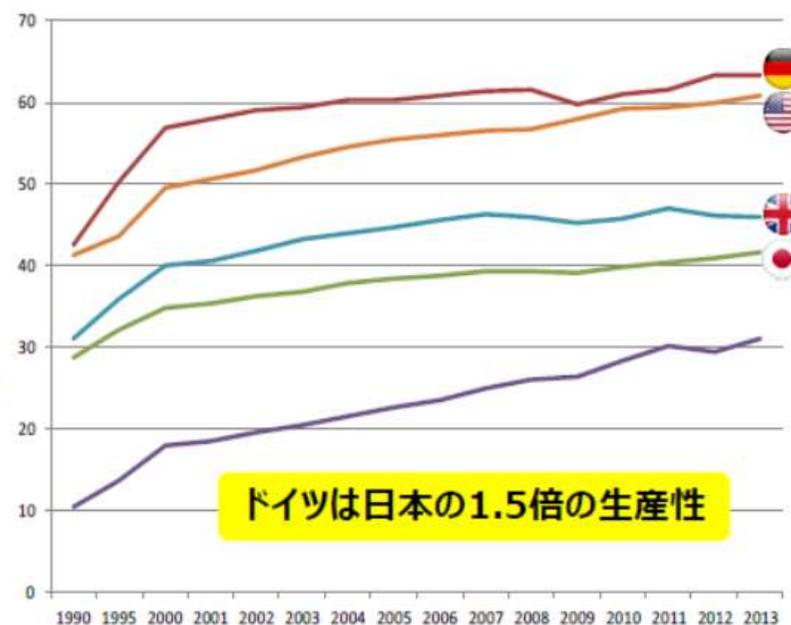
日本やドイツの課題とは何か？

SIEMENS
Ingenuity for life

GDP (constant 2005 US\$)



時間あたり購買力平価GDP PPP (constant 2011 international \$)



サプライヤーとしての 事例紹介

レーザー溶接の装置(ドイツ製)の見える化の流れ



Where	岡山県倉敷市
What	レーザー溶接装置(ドイツ製)
経緯	<ul style="list-style-type: none">・2004年の稼働から2020年まで制御部品14件の故障発生し、都度部品を購入し交換・2020年9月あまりに故障頻度が高いため、相談あり・IoTでの見える化を提案したが、その前に現状の検査をする事になった・2020年12月; 図面確認、機器接続確認、ノイズ、接地、ネットワーク等2日間の検査のみで約150万円

現在

- ・稼働状況の見える化を行う費用は150万円～300万円
- ・現在、お客様にて予算検討中

課題

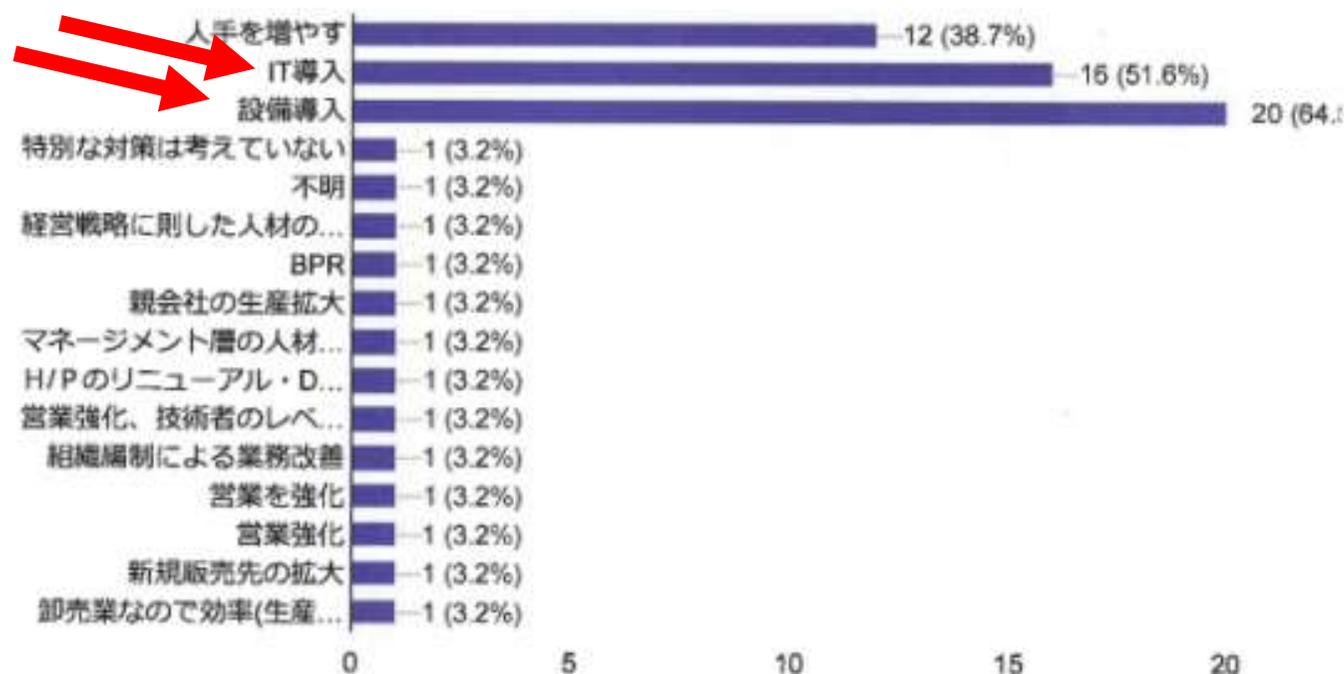
- ・見える化を行っても、故障の予兆状況（振動がある値以上等）を明確にするのは運用しながら行う必要あり。（大型機械でない限りメーカーから敷居値の指示は無い）
- ・新設の装置に設ける事は簡単だが、既存装置に追加の場合、検討項目が多い。

IT利活用に関するアンケート結果

31社

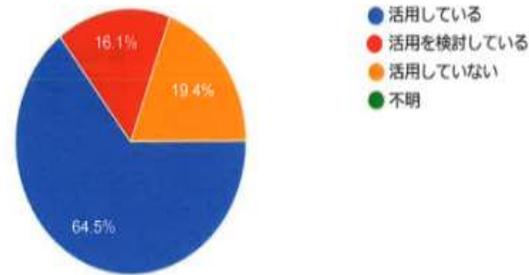
Q3.現在の生産・サービスを維持・拡大するための対策は何ですか（複数回答可）

31件の回答



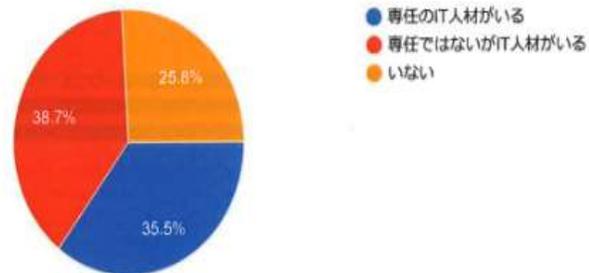
Q1.現在の御社の経営課題解決にITを活用していますか

31件の回答



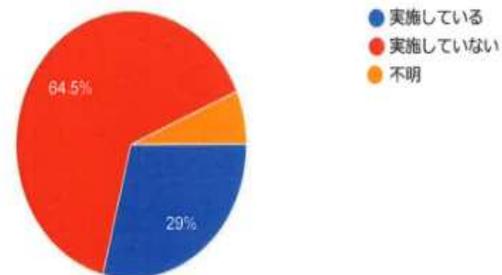
Q2.IT人材が社内にはいますか

31件の回答



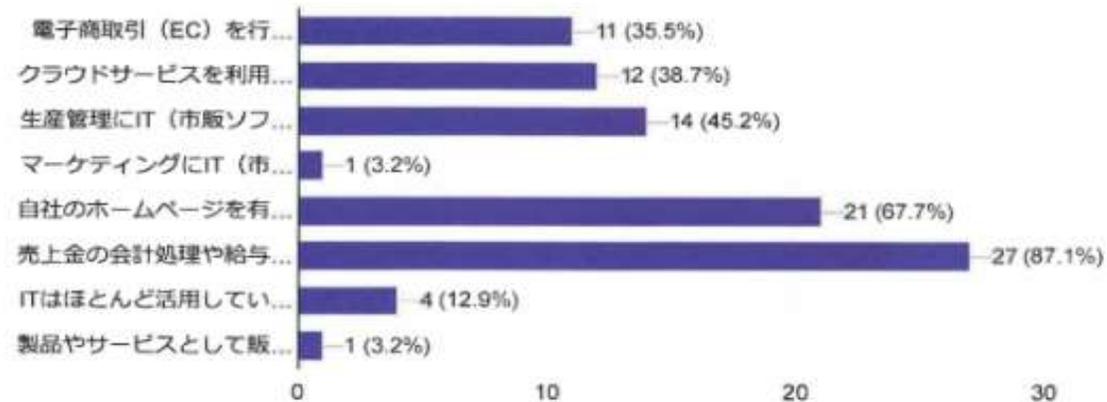
Q3.社員にITリテラシー教育を実施していますか

31件の回答



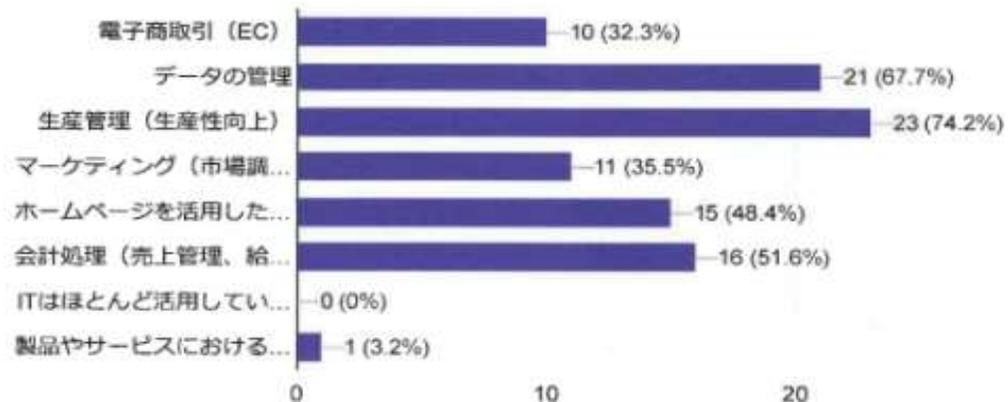
Q4.現在、業務上でITをどのように活用していますか（複数回答可）

31件の回答



Q5.今後、業務上でITをどのように活用したいですか（複数回答可）

31件の回答



長崎工業会会員事業所の実例紹介



When	2015年
Where	西彼杵郡時津町
Who	業種； <ul style="list-style-type: none">・金属製品の製作・加工・脱硝触媒の再生加工・電設資材の仕入れ・販売・土木・建築工事 従業員数；55名
What；	業務フロー見える化、原価管理
How much	約500万円

Why

これまでの業務の流れ(売掛)

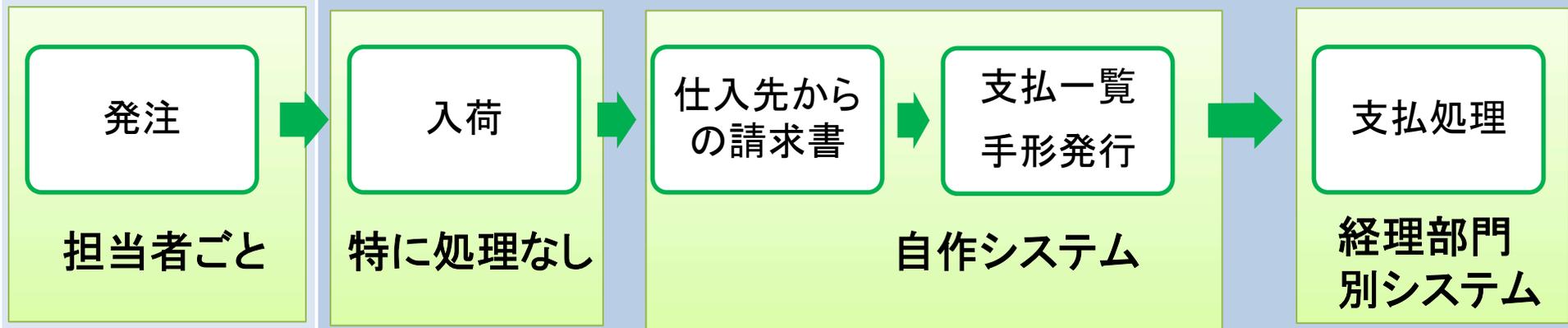


問題点

- 1) 間接工数の増加
- 2) 業務の属人化
- 3) データの不活用

Why

これまでの業務の流れ(買掛)



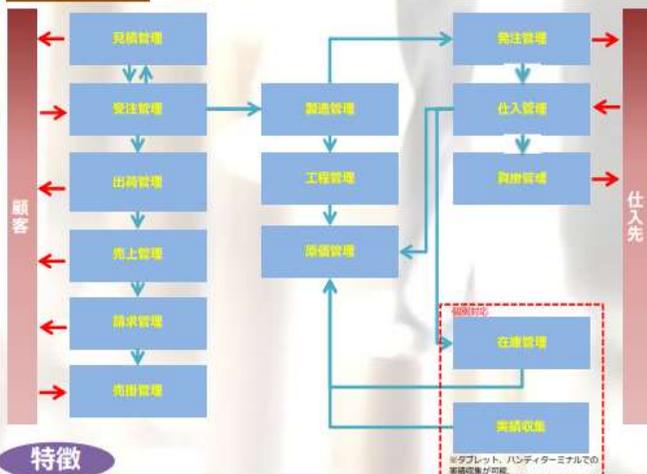
問題点

- 1) 非見える化
- 2) 業務の属人化
- 3) データの不活用

きばる工場長 電脳製造R1 ~中小企業の機械加工業様に特化した生産管理システムです~

オフィスメーション株式会社

システム関連図



特徴

業種に特化した機能

- 見積から受注、生産計画を過去の実績を流用して作成できるため、作業の業務効化を図れます。
- 負荷状況を工程別・機械別・人員別に見える化し、顧客からの厳しい納期交渉時に有効に活用できます。また、ドラッグ&ドロップの機能で負荷の山崩しが可能です。
- 製造現場への的確な製造指示(指示書発行)により生産性を向上します。
- 得意先からの受注データ(EDI)をシステムにデータ移行が可能。受注入力の負担を軽減します。
- 原価をタイムリーに把握することで、経営者の意思決定が迅速に行えます。
- 添付資料管理機能で図面、添付資料すばやく表示できます。

販売管理機能

- 業種に特化した販売管理機能を備えており、業種特有の処理に対応可能です。

段階的導入

- スタンドアロンからLAN・WANといった企業成長に合わせたレベルアップが可能です。

フリークライアントライセンス

- 業務拡張及びクライアントPC追加に伴う導入コストの削減が可能です。

効果

- 日々の仕事をスピーディーに!
 - データを一元管理することで、作業ミスが減り、二度手間がなくなります。
 - 日々の業務の中で、「毎月同じことを繰り返している業務」「紙やEXCELで管理している業務」「おちろちろからの資料をながら計測に掛かっている業務」などは、業務をシステム化することにより、業務効率が格段に上がります。煩雑だった作業が標準化され、手作業や複数の資料から数字を集めてきて、集計したりすることがなくなり、照会機能の活用等により売上/原価などもリアルタイムに把握することができ、更なる効率経営を実現します。
- 日常業務の標準化を実現!
 - システムを導入すると誰がどんなデータを入力し、出力するかがシステムにより規定されます。社員の個人的な能力で業務が動き、その人がいなくなると業務が停滞するといった事がなくなり、業務を標準化することができます。
- 経営判断のための情報を迅速に把握!
 - 日々の受注状況や作業状況を数値化し、迅速に取り出すことができるため、異常値やボトルネックを早期発見できます。また数字情報をリアルタイムに共有することで、社員の意識向上につなげることも可能です。

見積入力



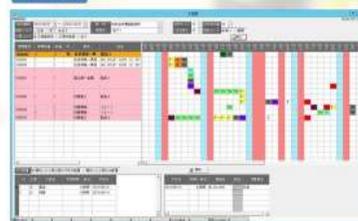
- 図面毎に各工程の加工費、材料費、外注費の予定原価の登録が可能。
- 見積書はお客様独自で作成したEXCELに出力可能。
- 受注から見積書への展開が可能。

受注入力



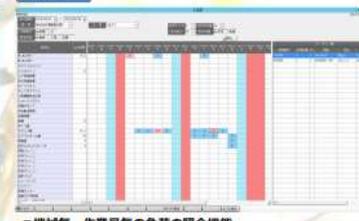
- 見積書から工程の加工費、材料費、外注費のデータを連動。
- オーダーの分割機能を搭載。生産ロット毎に工程を分割することが可能。

工程登録



- ドラッグ&ドロップによる工程の配置。
- EXCEL形式で工程を確認。

稼働負荷



- 機械毎、作業員毎の負荷の照会機能。
- 高負荷の山崩し機能を搭載。

発注予定 発注入力



- 発注予定の一篇から選択して発注処理。
- 発注書はお客様独自で作成したEXCELに出力可能。

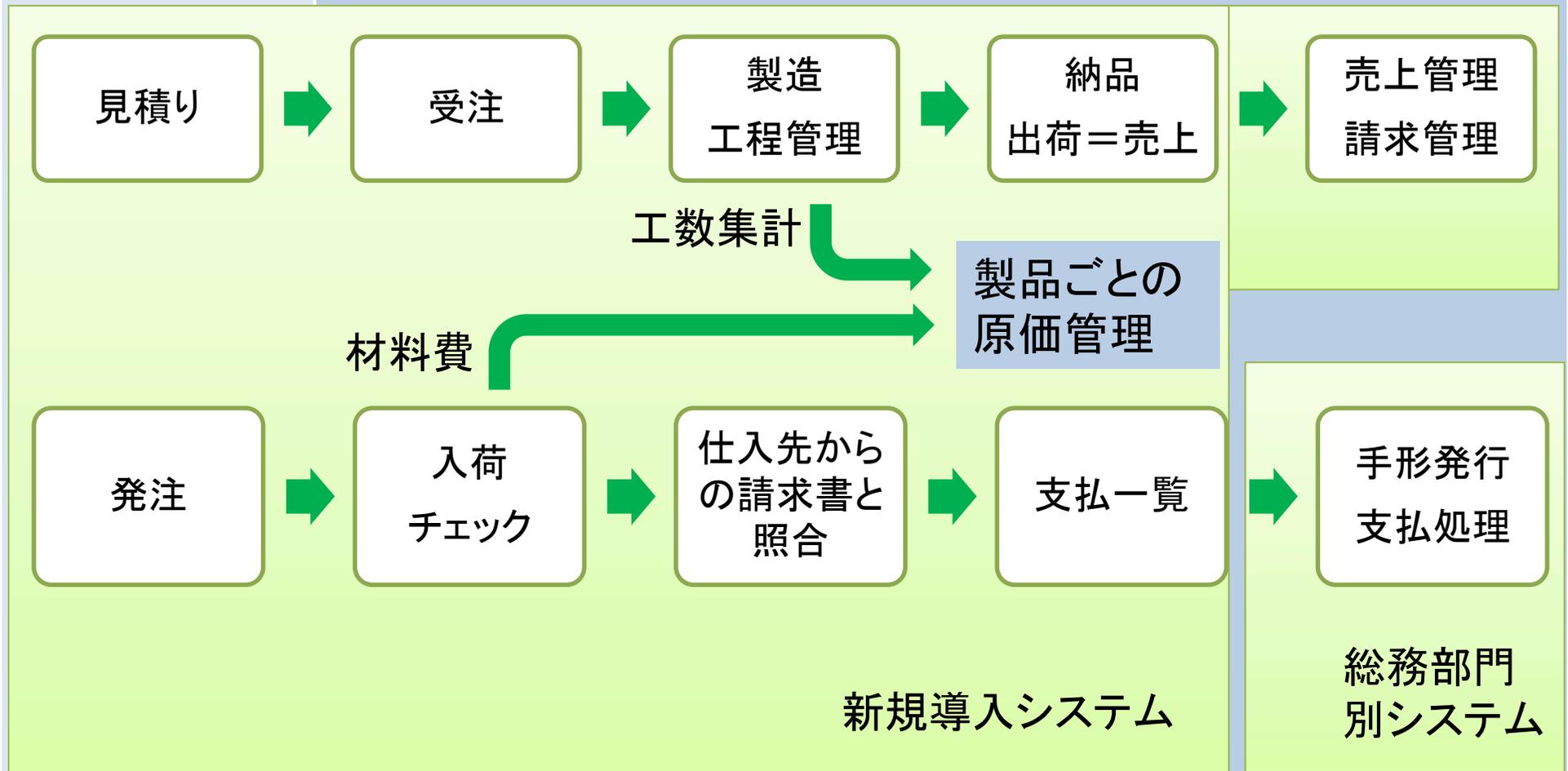
出荷指示 売上検収



- 納品売上、検収売上処理に対応。
- 先行売上処理に対応。

改善内容

システム導入後(After)



改善内容

- ① 出荷処理に連動して売上一覧に反映するので、情報の把握が容易にできるようになった
- ② 発注品の入荷状況の把握が容易になった
- ③ 受注した案件を容易に検索・把握することが可能となった
- ④ 作業コードを細かく設定 → 各人の作業内容の把握
各受注品に対する工数集計ができる = 分析へ
- ⑤ 売掛残チェックがしやすい。売上日、入金日などの詳細も得意先ごとに把握でき、経理側からも閲覧可能
- ⑥ 商事部門で仕入れや出荷に連動した在庫管理が可能
- ⑦ 全てがデータベース化され、一覧表・順位表・原価実績表などがすぐ作成できるようになった

課題

1. データの正確性を追求する→より正確な原価管理へ作業日報入力・仕入入力・在庫管理
2. 新システムを整理してマニュアルを作成。
効率よく業務ができるよう社内で勉強会を行う。
3. 新システムから見えるタイムリーな数字を、業務・経営に活かす。

長崎工業会会員事業所の事例紹介



When	2017年
Where	西彼杵郡時津町、(姫路)
Who	業種; 金属表面改質処理 (特殊鋼・超合金等素材にアルミ・クロム・バナジウム・チタン等の金属を拡散浸透させる表面改質技術) 従業員数; 187名
How much	約300万円(自動化設備費、人件費除く)

Why

中小企業が IoTを やってみた

試行錯誤で獲得したIoTの導入ノウハウ

岩本 晃一、井上 雄介 編著

- ✓ 技術がよくわからない
- ✓ 出遅れてしまった
- ✓ 何から始めればよいかわからない
- ✓ メリットがあるのか判断できない

見えてきた
課題と
とるべき
方策

日刊工業新聞社

改善内容

2017年

- ・IoT研究会キックオフ

2018年

- ・バーコードを用いた生産管理システム導入
- ・長崎工場ネットワークカメラ導入

2019年

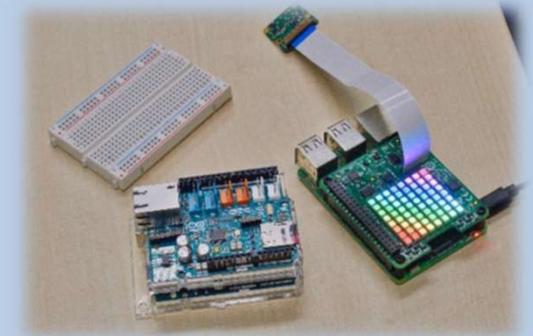
- ・振動センサを用いた設備の故障予兆保全
- ・温湿度センサを用いた作業環境の絶対湿度管理
- ・産業用ロボット導入

2020年

- ・電流センサと近接センサを用いた設備の稼働状況監視
- ・姫路工場ネットワークカメラ導入
- ・RFIDを用いた出退勤管理方式

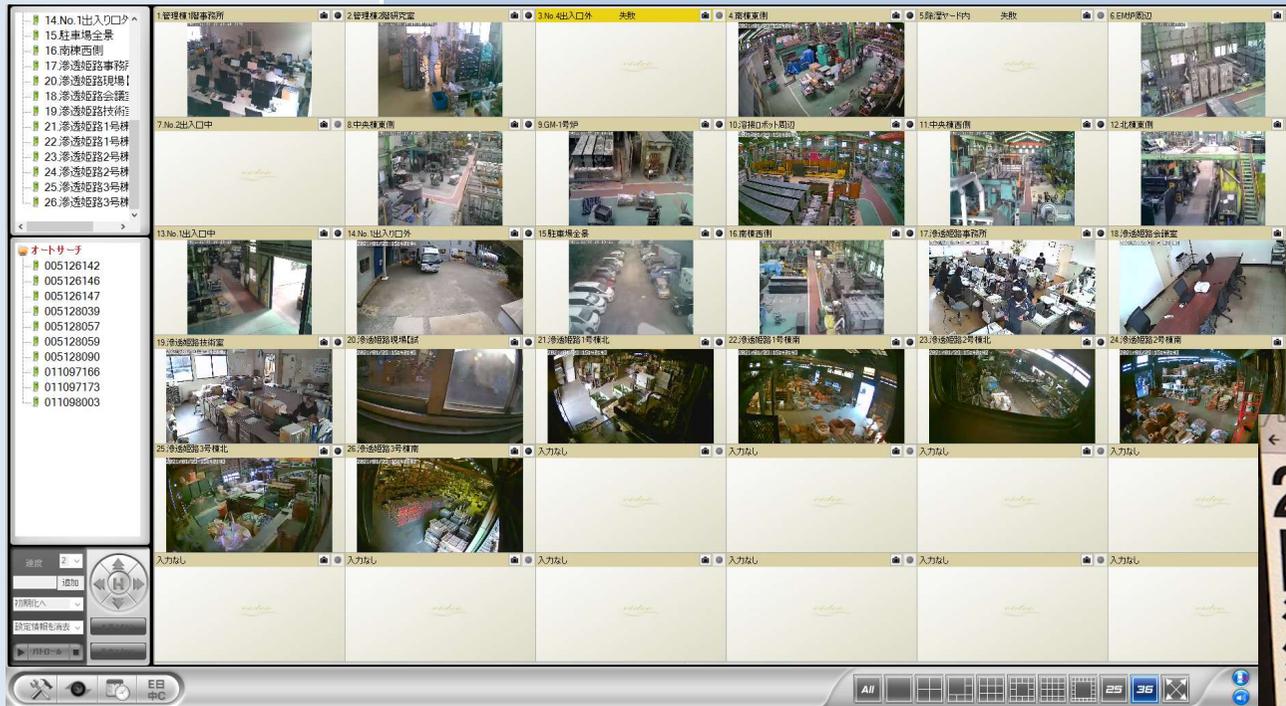
2021年

- ・製品詰め工程の診える化



改善内容

ネットワークカメラによる安全確保

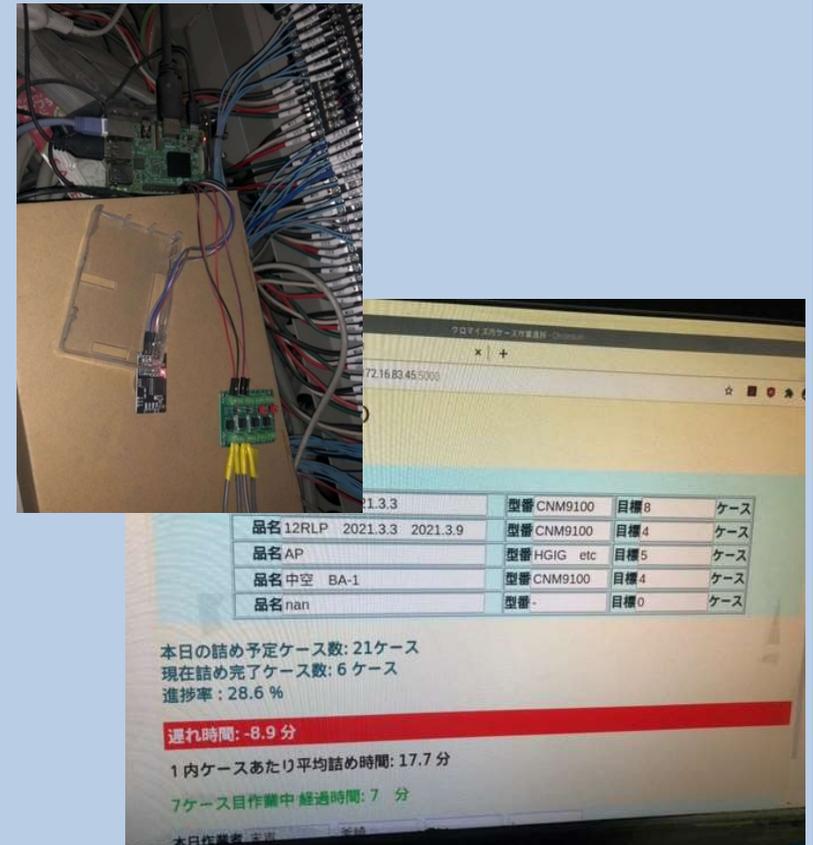
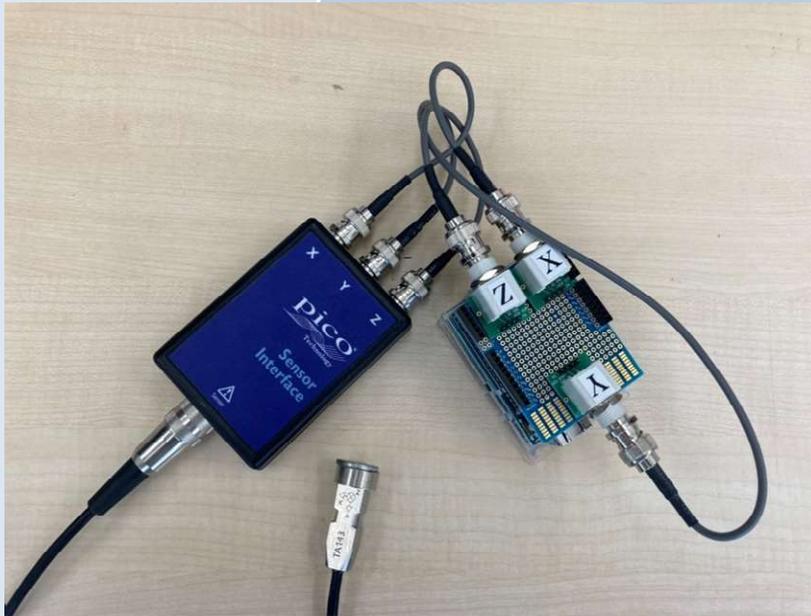


温湿度センサを用いた除湿エリア絶対湿度管理

改善内容

振動センサを用いた加熱炉ブロー予兆保全

製品詰め工程の診える化



課題・姿勢

- ・産業用ロボットティーチングレス化
- ・管理制限区域への入退室管理
- ・金属加熱炉操炉実績のデータ解析
- ・作業者とモノの動線把握によるレイアウト最適化
- ・国内3拠点稼働状況一元管理
- ・設備の故障予兆監視展開
- ・工場内温湿度、騒音、粉塵環境常時監視
- ・ネットワークカメラ増設、ネットワーク強化
- ・ペーパーレス、RPA、ERP、非対面営業、など

出来る限り自分達の手で創造する

課題

各部署間、各拠点間を総合して管理 できるシステムを構築する。

懸念される事項

- ・会社全体のシステムビジョンが無い
- ・遠隔地の管理に既存ネットワークでは力不足
- ・AIや5G、クラウドなどのDX要素知識が乏しい
- ・気軽に相談できるSierがない
- ・既に蓄積しているデータが活用出来ていない
- ・展開するネットワークのセキュリティ対策
- ・DXを導入することによる効果の試算、など

訪問させて頂き、
気づき・浮かんだこと

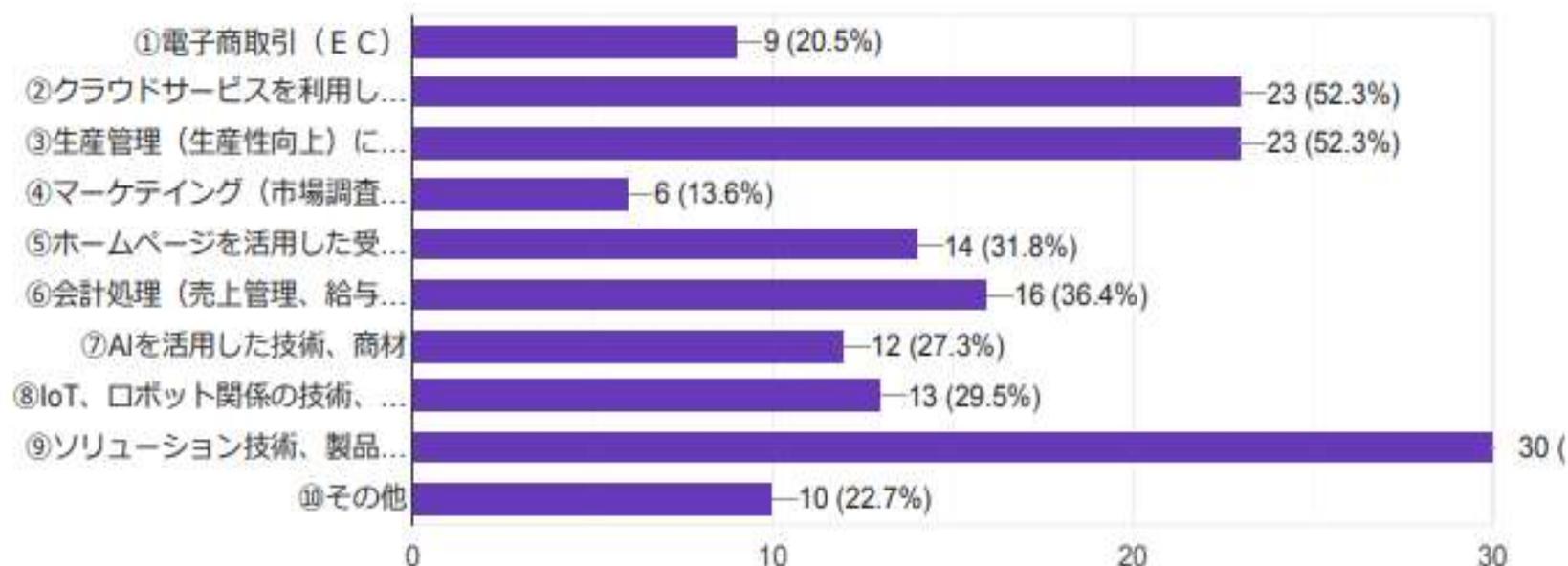


- 先ずやる
- 具体的に出来るところから
- やった結果、課題が明確
- その課題解決に向けて、
またやる
- 継続的改善

長崎県情報産業協会NISA の対応、アンケート結果

Q7.貴社が得意とするICT活用技術（商材等）はどの分野に提案できますか？（※複数回答可）

44件の回答





ニュースのお知らせ

会長挨拶・役員・組織

NISA概要ご紹介

NISA会員募集のご案内

イベントのご案内・ご報告

産・学・官 交流会

新型コロナウイルス感染症
に関連したお知らせ

長崎県IT活用推進センター研究会

ICT利活用に関するアンケート

IPA with IT 情報処理推進機構

iCDA iCD情報
iCD Association

IPA Better Life with IT 情報処理推進機構
情報処理技術者試験

サイバーセキュリティ
通信(サイバちゃん)

NISA ビジネスコラボ会

NISA 一般社団法人長崎県IT活用推進センター研究会

長崎県 次世代
情報産業クラスター協議会

ANIAS 一般社団法人
全国地域情報産業団体連合会

IT 関連掲示板

大学・高校 企業説明会

2021年度(令和3年度)
8月度 IT技術研修募集

[03] (開催日: 8/4・5・6)
C#によるオブジェクト指向
プログラミング(基礎編)

[04] (開催日: 8/25・26・27)
実務で活用するUNIX/Linuxの
必須技術

【NISA-IT技術研修】2021年8月開催 受講者募集のご案内 (申込期限6/28)

◆受講申込書: http://www.nagisa.or.jp/info/osiras/edetail.php?info_no=3228
受講のお申込みは、申込書(Excel版)をメールに添付しNISA事務局へ送付下さい。
◆各講座の詳細内容はホームページをご参照下さい。
<http://www.nagisa.or.jp/training/training.php>

NISA会員活動のご紹介 (事例)



【NISA会員活動のご紹介】

情報産業振興施策について長崎県(産業労働部、総務部、企画部の関連部門)とNISA会員企業との意見交換会を実施しました(於:ホテル長崎)。また、県内大学(長崎大学、県立大学、総合科学大学)と国立佐世保高専(専攻科:情報系)の就職担当の先生方と人材確保等に関する意見交換会を実施しました。(於:長崎大学)

表示区分

※表示区分、年月を選択して表示を絞り込むことができます。

表示年月 年 月~

[過去のお知らせはこちら](#)

日付	表示区分	タイトル
2021.06.11	案内	【厚生労働省】新着情報配信サービス 2021年06月11日
2021.06.11	案内	【IPA】第17回 IPAコラボレーション・プラットフォームの開催案内
2021.06.11	案内	【長崎工業会&NISA】「DXに繋がる中小企業のIT活用セミナー」【6月14日(月)開催】資料のご案内
2021.06.10	案内	【厚生労働省】新着情報配信サービス 2021年06月10日
2021.06.10	案内	【JISA Webニュース】No.1278(2021/06/10号)
2021.06.09	案内	【厚生労働省】新着情報配信サービス 2021年06月09日
2021.06.08	案内	【厚生労働省】新着情報配信サービス 2021年06月08日
2021.06.07	案内	【厚生労働省】新着情報配信サービス 2021年06月07日
2021.06.04	案内	【県中央会】新型コロナウイルス感染症の拡大防止について(6月4日)
2021.06.04	案内	【県産業労働部】新型コロナウイルス感染症の拡大防止のお願い(知事記者会見 6.4)
2021.06.04	案内	【厚生労働省】新着情報配信サービス 2021年06月04日
2021.06.03	案内	【JISA Webニュース】No.1277(2021/06/03号)
2021.06.03	案内	【厚生労働省】新着情報配信サービス 2021年06月03日
2021.06.02	案内	【厚生労働省】新着情報配信サービス 2021年06月02日
2021.06.01	案内	【厚生労働省】新着情報配信サービス 2021年06月01日
2021.06.01	案内	【長崎市】利用者向けデジタル活用支援推進事業の実施団体(法人)の公募のお知らせ(2)

DX に繋がる中小企業様への ICT 活用技術・商材のご提案

2021年6月14日(月) 14:00~16:00 オンライン開催

DX に繋がる中小企業の IT 等活用セミナー

🍀 お客様の DX (デジタルトランスフォーメーション) をご支援します。

◆長崎県情報産業協会会員企業からのご提案

■ ICT の利活用に関する技術・商材に関するアンケート調査結果 [1 次調査 : 6 月実施]

<http://www.nagisa.or.jp/info/data/tmp/02info3347.pdf>

■ アンケート調査結果(グラフ)

<http://www.nagisa.or.jp/info/data/tmp/04info3384.pdf>

◆セミナー資料 (下記 URL よりダウンロードできます)

[1]「地域における“Society5.0”とデジタルトランスフォーメーション(DX)の実現」

講師：長崎県 企画部/産業労働部 政策監 三上 建治氏

<http://www.nagisa.or.jp/info/data/tmp/05info3384.pdf>



トップページ 会員紹介

会員紹介

Member introduction

会長挨拶・役員・組織

NISA概要ご紹介

NISA会員募集のご案内

イベントのご案内・ご報告

産・学・官 交流会

2021年4月開講
新入社員 IT技術研修

新型コロナウイルス感染症
に関連したお知らせ

長崎県サイバーセキュリティ研究会

IPA Better Life with IT 情報処理推進機構

iCDA iCD情報
ICD Association

IPA Better Life with IT 情報処理推進機構
情報処理技術者試験

サイバーセキュリティ
通信(サイバちゃん)

NISA ビジネスコラボ会

会員企業を検索します。

※会員情報画面では会員企業各社の製品紹介、技術・設備などがご覧いただけます。

※何も入力しないで検索ボタンを押すと全ての会員企業名一覧が表示されます。

※会員種別を選択していない場合は全ての会員企業名一覧が表示されます。

※フリーキーワードで企業情報を全文検索します。

検索する**会員種別**を選択して下さい。

正会員 賛助会員 特別賛助会員

検索する**得意分野**を選択して下さい。

- | | | | |
|-------------------------------|-------------------------------|---------------------------------|-------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 事務系 | <input type="checkbox"/> 技術系 | <input type="checkbox"/> ネットワーク | <input type="checkbox"/> Web |
| <input type="checkbox"/> 組込 | <input type="checkbox"/> 教育 | <input type="checkbox"/> 医療 | <input type="checkbox"/> 金融 |
| <input type="checkbox"/> CG | <input type="checkbox"/> 地図情報 | <input type="checkbox"/> 技術計算 | <input type="checkbox"/> 広告印刷 |
| <input type="checkbox"/> OA機器 | <input type="checkbox"/> クラウド | | |

検索する**文字** (キーワード) を入力して下さい。

検索

一般社団法人 長崎県情報産業協会



[Nagasaki I T Solution Industry Association]



地域の高度情報化を目指して ～IT融合化を推進する～

2021年5月15日

一般社団法人 長崎県情報産業協会



会長 濱本 浩邦

長崎県情報産業協会は、長崎県内の情報産業に携わる企業による非営利一般社団法人です。

関係者の方々のご指導・ご支援に厚く感謝すると共に、日頃のご協力に深く敬意を表します

【住所等】

- ◆代表者名： 会長 濱本 浩邦（不動技研工業株式会社 代表取締役会長）
- ◆所在地： 〒850-0032 長崎市興善町4番6号701
- ◆電話番号： 095-824-0332， FAX番号：095-824-0813
- ◆ホームページ： URL： <http://www.nagisa.or.jp>
- ◆会員数： 77社（正会員：71社、特別賛助会員：6社） [2021.6.10]

【経歴】

任意団体『長崎県ソフトウェア産業協議会』設立（1988-9-1）
社団法人『長崎県ソフトウェア産業協会』設立（1993-5-28）
社団法人『長崎県情報サービス産業協会』改名（1996-3-31）
社団法人『長崎県情報産業協会』改名（2006-9-19）
一般社団法人『長崎県情報産業協会』一般社団法人へ移行（2012-4-1）
現在に至っています。

【会員】

正会員の社員数：約5,000名
長崎県内に活動拠点を置く情報関連事業及び情報サービス業を営む個人、法人。
特別賛助会員：事業を賛助する法人、個人



一般社団法人長崎県情報産業協会
Nagasaki IT Solution Industry Association



株式会社 亀山電機
Kameyama Electric Co.,Ltd.

ご清聴ありがとうございました

長崎工業会 令和3年度競争力強化支援事業

DXに繋がる中小企業のIT等 活用セミナー

事例紹介

一般社団法人 長崎県情報産業協会 副会長
株式会社 亀山電機 代表取締役会長

北口 功幸